

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

コナミホールディングス株式会社（証券コード：9766）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

格付事由

- (1) 当社は、デジタルエンタテインメント事業（モバイルゲーム、家庭用ゲームなどの制作・販売）、健康サービス事業（スポーツクラブの運営）、ゲーミング&システム事業（カジノ施設向け機器などの製造・販売）、アミューズメント事業（アーケードゲーム、遊技機の製造・販売）をグループ会社で行う純粋持株会社。多くの事業分野で業界の有力企業に位置付けられており、強固な事業基盤を構築している。当社グループには強い経営の一体性が認められることから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) モバイルゲームの伸長により当社は高水準の収益を維持している。モバイルゲームは参入企業が多く競争は激しいものの、当社は有力な IP や高い開発能力に強みを有し、すでに複数のヒット作を生み出している。これらのタイトルはアップデートやイベントによりゲーム内容を充実させることで、長期的にユーザーの満足度を維持し、継続的な収入が見込まれる。また、引き続き競争力のあるタイトルを投入予定であり、さらなるヒット作も期待できよう。加えて、その他の事業の収益も底堅く推移している。当面、堅調な業績推移が見込まれるであろう。良好な財務内容にも変化はない。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。モバイルゲームでの継続的なヒット作の創出および従来タイトルの安定運用により、中期的に収益力を一段と高め、安定化していけるか注目していく。
- (3) 17/3 期の営業利益は 360 億円（前期比 45.9%増）と好業績を維持したもようである。18/3 期も好調なモバイルゲームに支えられ、底堅い収益を確保すると考えている。デジタルエンタテインメント事業では、「遊戯王デュエルリンクス」が世界各国の配信サイトで上位にランクインし、「実況パワフルプロ野球」など従来タイトルも順調な運営を続けている。カジノ事業では、北米、オセアニアを中心に多数のライセンスを取得しており、収益は安定している。今後はスキル要素を導入したゲームマシンの発売もあり、その販売動向が注目される。健康サービス事業では、スクールを中心に入会動向は良好で、効率化の推進もあって収益は改善している。アミューズメント事業では、アーケードゲームと遊技機の制作・製造・販売機能の集約により、収益構造の改善を進めている。
- (4) 財務は良好な状態を維持している。16 年 12 月末の親会社所有者帰属持分比率は 67.8%で、手元流動性も潤沢である。旧銀座テアトルビル跡地の活用に向けて設備投資が見込まれるが、財務上の負担になる水準ではない。当面、財務に影響が生じるような多額の設備投資や投融資は想定されず、現状の財務バランスは維持され则认为している。

（担当）本西 明久・安部 将希

格付対象

発行体：コナミホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 9 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2013 年 9 月 3 日	2017 年 9 月 1 日	0.460%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2013年9月3日	2018年9月3日	0.527%	A
第11回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2013年9月3日	2019年9月3日	0.659%	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年3月29日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） コナミホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル